

NSW Way

私たちは創業者の思いから生まれた経営の視点、発想、思想、精神、姿勢を受け継いでいます。それらは常に私たちの行動規範として心の中に刻まれ、社員一人ひとりが実践しています。私たちはそれらを「NSW Way」として確実に次世代に継承すべく、これからも行動していきます。

視点 常に時代の先を見る視点

1954年、創業者の多田修人は米軍基地でコンピュータに初めて触れ「これからの時代はコンピュータ」と直感した。後にここから生まれたNSWは、以来、常に時代の先を読んで変遷を続けている。1966年にソフトハウスとして創業した後も、68年に運用管理サービス、78年にファームウェアおよび論理回路開発事業、80年にオフコン販売事業と新事業を展開してきたが、これらは、それぞれ後のアウトソーシング事業、組込み系ソフト開発事業およびLSI設計事業、SI事業への布石となった。97年のインド駐在員事務所開設は海外オフショア開発の先駆けであり、98年開設の山梨ITセンターに至っては当時まだ「データセンター」という言葉すらなかった。創業者が日頃から提唱するメッセージ「会社も、社員個人も、常に新しい時代に目を向け、次の時代を予測し、そこから“次は何をすべきか”を考えよ」。この視点は今もNSWの積極的な新規事業開発などに息づいている。

発想 お客様中心のビジネス発想

1966年、多田修人は勤務していた会社の倒産を契機に独立を考えた時、取引先からの温かい応援の声にも後押しされてNSWを創業した。つまりNSWは純粋にお客様のニーズからスタートしている。「株式会社事務計算センター」としてスタートしたNSWは、多様化するお客様のニーズに応えるべく事業内容も拡張していった。お客様が求めているのはハードやソフトの製品や技術そのものではなく、包括的なシステムとしてのサービス「システムウェア」であるという発想から、82年には「日本システムウェア株式会社」に社名も変更した。「ビジネスの中心は常にお客様。顧客重視、顧客満足というのは、まだお客様を自分達の対象としてみている考え方であり、我々はお客様と一体になって一緒に仕事をする企業でなければならない」という創業者の“お客様中心主義”は、NSWのビジネス発想の原点である。

思想 人間の持つ可能性を最大限に活かす人材活用の思想

NSWにおける最大の資産は人材、それも個性や感性、創造性など人間だけが持っている価値「ヒューマンウェア」である。そしてこの社員一人ひとりのパワーを最大限に活かすための環境や制度などの仕組作りを積極的に導入、推進してきた。1986年に開設した

新本社ビルのユニークなデザインは社員の創造性を刺激することを意図しており、91年開設の「山中湖山荘」は単なる保養所でも無機質な研修施設でもなく創造性を育む空間として設計されている。また98年に開設した「山梨ITセンター」は創造性を重視した設計思想が「グッドデザイン賞」「日経ニューオフィス賞」などによって評価されている。創業当初から「わが社が生き残っていく途は、ただ一つ、会社全体が高度の技術者集団になること以外にない」との創業者の方針に基づいて教育を重視してきたのは、プロフェッショナルとしての「個人」が「企業」を支え、「社会」を形成していく時代になっていくという理念があったからである。持っている能力を最大限に引き出して活かす、これが創業以来一貫したNSWの人材活用思想である。

精神 自立自営の精神と礼儀正しく謙虚で誠実な社風

NSWは創業以来、独立系として自立自営の途を歩んできた。1975年の自社ビルの取得は、当時、ソフトハウスは資産を持たずに経営できるのに何故かと首を傾げられたが、独立系としての地歩を確立するための経営基盤となった。その後、94年にはデータセンター用地を取得、96年の株式公開によって市場から得た資金で98年には山梨ITセンターを開設し、独立系としての経営基盤を強化した。また2000年には東証一部上場企業となることで市場からの信用力も高まった。一方、独立系企業がお客様から信用を得られたのは、常に礼儀正しく謙虚で誠実な姿勢が評価されたことでもある。「人から受けた恩は石に刻んで覚え、人に施した恩は水に流して忘れる」の考えに基づき、創業当初の営業活動に親身に接して下さった方々に対しては創業者自らが礼を尽くす。この精神は礼儀正しさ、謙虚さ、誠実さというNSWの社風となって根付いている。

姿勢 社会に貢献する企業姿勢

NSWは創業以来、コンピュータを通して人々に喜ばれるものを提供し社会に貢献することを目的に努力を続けてきた。社業が発展したのはこの姿勢が少なからず社会に受け入れられた結果に他ならない。そして、この場合の「喜ばれるもの」とは形のあるハードウェアや目に見えないソフトウェアやサービス等がシステムとして働くことで作り出す価値「システムウェア」のことである。1982年にこの理念を社名とした。そして、創業以来提唱してきた、「個性、感性、創造性など人間ならではの価値」である「ヒューマンウェア」を織り込んで1990年に「Systemware By Humanware」を企業理念として制定した。さらに、2004年には企業の社会的責任（CSR）の重要性を認識し、「ヒューマンウェア」を「人類や地球環境をも含めた人間社会における価値」を意味する概念と新たに位置付け、企業理念を「Humanware By Systemware」に改定した。その後、2005年には環境マネジメントシステムの認証登録をするとともに、地域の清掃活動や献血への協力などの社会活動を継続的に実施し社会に貢献する企業姿勢を鮮明にしている。